

聖園だより

E-mail …… postmater@seien.jhs.
 asahikawa-hkd.jp
 Web Site … http://www.seien.jhs.
 asahikawa-hkd.ed.jp
 Tel …… 0166-22-4786
 Fax …… 0166-22-4787



教育目標

未来を拓く、人間性豊かな生徒

たしかな思考 [知]

思いやる広い心 [徳]

たくましい身体 [体]



2012,06,13

Published
No.3

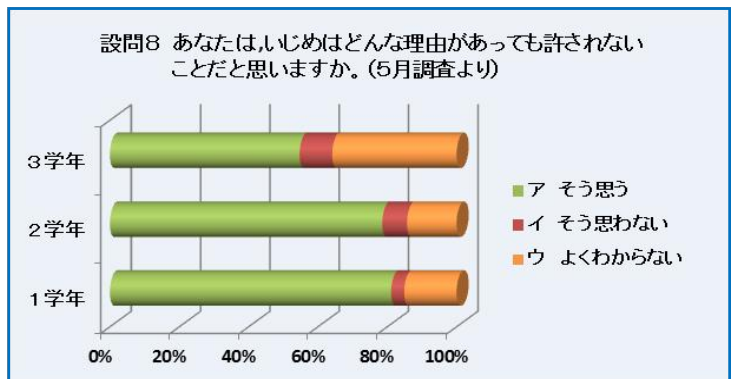
いじめゼロ … は「目標」じゃない。 そんなの「当たり前」なんだ。

とは言っても、本校5月の「いじめに関するアンケート調査（生徒向けの道教委の調査）」の結果において気になるデータがありました。グラフが示すとおり、「い

じめはどんなことがあっても許されないこと」ととらえている生徒の割合が必ずしも100%に近いこと。本校ではこれまでも「教育相談」や「いじめについての全学級道徳」などを実施してきました。しかし、それでもなお「そう思わない」「よくわからない」と回答する生徒は決して少なくありません。

やはり、多少遠回りのように思えても、いつもの授業、いつもの行事の中で着実に生徒の心を育てていく教育活動が求められます。これまでのいじめに関する指導に加えて、生徒指導の基本に立ち返りながら新たな視点で授業や行事を見つめ直す必要があります。

生徒指導の基本的な視点である「①自己決定 … 自分で決める」「②自己存在感 … 自分は認められている」「③共感的人間関係 … わかり合える」の3点から、この6月前半の生徒の姿を振り返ってみたいと思います。



部活動は、自分でどこに入部するかを決め、仲間とかかわりながら自分らしさを発揮し成長していく営みです。そこには生徒指導の3つの視点がすべて盛り込まれています。先日の音楽大行進では、聖園中吹奏楽部の真摯な演奏に沿道から大きな拍手がわき起こりました。部員一人ひとりが輝いて見える瞬間でした。(写真は6月9日、音楽大行進)



学校を愛する心は、そこに所属する仲間を愛し、自分を愛する心にもつながります。共感的人間関係を築き、自己存在感を高める根本でもあります。(写真は6月4日、花の苗植え)

体育祭はあくまでも体育的な行事ですから、いじめゼロのための取組ではありません。しかし、上級生が下級生を応援する姿や、心一つにして長縄を跳ぶ姿、自分の役割を果たし係として精一杯努力する姿は、いじめゼロそのものの姿です。まさに「認められること」「わかり合えること」の大切さが体育祭の一日を貫いていました。（写真は6月7日、体育祭）



教育相談は生徒理解の大切な機会です。人間関係の悩みや進路にかかわる相談など話題はさまざま。その話し合いを通して担任は生徒の「自己決定」を支えていくのです。（写真は6月12日～15日、教育相談）



自己決定の場があり一人ひとりのよさが認められる授業、共感に支えられる授業、教育実習の亀畑先生も、その重要性を生徒から学んだはずです。（写真は6月12日、教育実習研究授業）

家庭学習は自己決定の連続です。自分で決めなければ何も進まないとも言えるでしょう。先生方はこれからも生徒の家庭学習を支え続けます。（写真は6月6日、配布した家庭学習ノート）

聖園中 Web Site … デザインを一新しました

聖園中



これまで更新が滞っていたため、デザインを一新しました。PCはもちろんのこと、スマホやフルブラウザ携帯でもアクセスできます。学校の最新情報を確認したり、本校の沿革などをご覧いただいたりすることができます。



7月の行事予定

2日	月	中連体育大会壮行会
3日	火	中連体育大会（～5日 予備日6日） 本校は剣道大会会場校
10日	火	上川管内代表決定戦壮行会
11日	水	上川管内代表決定戦（～12日 予備日13日） 本校は剣道大会会場校
17日	火	2年宿泊研修（～18日）
23日	月	参観日
25日	水	第1学期終業式

